

PTAの活動紹介 第10回

保護者全員が参加する「父母の会」

～中野区立ひがしなかの幼稚園父母の会～

中野区立ひがしなかの幼稚園

○開校 昭和45年

○園児数 74名

○園長 若槻 容子

○父母の会会長 佐山 詩織

中野区立ひがしなかの幼稚園は、中野区に二つある区立幼稚園のうちの一つで、JR東中野駅から徒歩3分と交通の便もよい住宅街に位置し、近くには区境である神田川が流れています。園庭には、春にはオタマジャクシでいっぱいになる人工池、子供たちが育てる野菜や、杏、柿など実のなる樹木等、都会にありながらも自然に触れる体験ができます。また、区立中野東中学校に隣接し、日常的に校庭を借用したり、中学生との交流をしたりしています。

今回は、様々な行事等に保護者全員が参加して、幼稚園とともに子供を支え育てていく、中野区立ひがしなかの幼稚園父母の会(以下「父母の会」という。)の取組を紹介します。



住宅街に位置しながら、たくさんの木々や植物に囲まれている園舎

○保護者全員が参加する「父母の会」の活動

父母の会には、役員、学級委員、よつば委員(中野区立幼稚園2園の父母の会同士で情報交換を行う。)から構成される運営委員会のほかに、図書係、地区祭り係、ホームページ係、夏祭り係、講演会係などの係が設置されています。保護者全員がいずれかの委員や係に所属することになっていますが、事前にアンケートを取るなど、保護者が主体的に役職を選び、全員で園の活動を進めていけるような工夫をしています。



子供たちも保護者が一生懸命に染める姿に入っていました

○伝統文化との出会いを大切に取る取組 ～藍染めTシャツを作る～

日本の良い伝統を伝えるために幼稚園で行っていた藍染を、子供に世界で一つのTシャツを作る意義や楽しさを味わう場として、平成19年度から父母の会が受け継いで実施しています。染料の購入や藍液の調整等の準備も全て藍染め係が中心となって進めていき、保護者自身が模様や柄などのデザインを工夫しながら、子供たちが夏祭りや運動会で着用するTシャツを染めます。子供たちは、一生懸命に染めている保護者の姿をうれしそうに見ています。また保護者同士も、やり方を教え合ったり、励まし合ったりして、交流を深める貴重な場ともなっています。

○楽しい時間を過ごす同窓会(修了生の集い)

父母の会では、小学校6年生までの修了生が集まり、当時のアルバムをめくりながら、思い出話や近況報告などをする同窓会を実施しています。毎年、修了生のみならず、お世話になった先生方も集まり、笑顔や笑い声が絶えないイベントとなっています。今年は、他県に引っ越しをした修了生なども含め、108名の参加がありました。また、修了生と同じように保護者も集まり、当時を思い出しながら、おしゃべりを楽しみます。園が心のふるさとであることを実感できる一日となっています。



2年ぶりの再会を大いに満喫している修了生と先生たち

公立幼稚園には、多様な園児たちが在籍しています。園の教育活動を支える父母の会の活動を通じて、保護者自身も多様性を実感しながら、子供たちとの関わり方など、多くのことを学ぶことができると思います。

「『子供たちのために、みんなで育てる』を合言葉に、楽しく父母の会の活動をしていきたい。」と、会長は力強く語ってくれました。

取材協力：東京都公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会

東京都レベルの組織として、「東京都公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会」があります。東京都国立幼稚園・こども園長会と共催している「子育て研修会」、東京都教育委員会委託事業の「リーダー研修会」等の事業では、保護者が自分の子育てを振り返ったり、地域の子供をともに育てる社会について考えたりする機会を提供しています。